



2010年4月1日発行  
 発行人：森本 泰暢  
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区  
 海岸通8神港ビルディング509  
 TEL：078-393-0050  
 FAX：078-393-0051  
 E-Mail：[kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)  
 URL：<http://www.kobekeio.org/>  
 編集：堀 雅博・齋藤 洋邦

## ～1月例会レポート～

### 「福澤諭吉と関西」のはずが・・・

森本 泰暢 (昭60法)

新年明けてからの初例会が1月29日(金)神港ビル1階会議室で行われました。

講演は慶應義塾福澤研究センターの専任講師都倉武之氏による「福澤諭吉と関西」となるはずだったのですが、なんと当日午後2時前、JR東海道新幹線で停電があり、約3時間にわたって東京～新大阪の上下線で運転を見合わせたことにより、講演は延期となってしまいました。停電は神奈川区で架線が切れたことが原因とみられ、東海道新幹線は29日午後5時過ぎに運転を再開したが、約14万9000人に影響が出たという事故でありました。都倉先生は何とか神戸の皆さんにお会いしたいということで、羽田空港にも向われましたが、途中で伊丹、神戸、関空行きは全て満席の情報を知り、運転再開を期待して再び新横浜駅で待機されました。結果として翌日関西でお仕事があるということでしたので、大阪に21時半頃に到着したという連絡とともに、必ず次の機会に講演をしていただくとの約束をいたしました。



この講演の穴を誰が埋めるのか？と不安を感じる私でしたがさすが佐井会長、30分の会長挨拶のほとんどを「開港場神戸を支える慶應系人脈」についてお話をされました。

その後は参加者16名が各々近況報告等を語らい会員相互の理解と親睦が深まった例会となりました。

[佐井会長ご挨拶]

(1)1月10日(日)第175回福澤諭吉先生誕生記念祝賀会が清家塾長、塩川元財務大臣をご来賓に迎えシェラトン都ホテル大阪にて開催されました。本年は、緒方洪庵先生生誕200年にもあたる年ということでもあります。清家塾長による講演では「より良い未来を求める大前提として、地球、人類、

国際社会、そして日本社会が持続しうるためにはどうしたらよいか。そうした問題に対処しうる人材の育成、すなわちそれは実学の精神に則って自分の頭で考えることのできる人材を育成することである」とのお話がありました。

(2)2011年10月23日(日)に神戸慶應倶楽部主催の関西合同三田会が開催されます。この準備におい



て、多くの会員が参加し協力するということが大事であり、最近ご無沙汰の会員の出席をお願いするとともに、会員の親睦の輪が広がるという場にしていきたいと考えております。

(3)開港場神戸の経営のためには、英語と国際的な商法に習熟した人材が必要であった。明治4年県令(現在の知事にあたる)に神田孝平が就任した。神田と福澤先生は幕末長崎留学以来の親密な関係があった。神田の後任の森岡昌純が明治9年に就任したが、神田ほど欧米事情に明るくない森岡はこれまで以上に開港場経営のための教育、経済運営を福澤先生に頼ることとなった。明治10年、森岡は慶應義塾出身の牛場卓蔵に命じて商業学校を作ることを計画、その設置された兵庫県商業講習所の校長、教師に慶應出身者らが多くいた。明治13年牛場卓蔵の後任として福澤門下生の本山彦一が兵庫県に出仕した。本山は兵庫県の勸業と教育を一手に担った。

講習所卒業生らは、明治12年には神戸商法会議所を設立、また商議社を結成した。商議社は政治結社ではなかったが、演説や討論の方法が自主的に学ばれ、その建物では日常的に演説会が持たれるようになる。明治13年1月神戸のような動きを全国的に広げたものとして、福澤先生は交詢社を設立した。社員は全国で1,800人、神戸では80人が社員となった。森岡昌純、本山など県上層官僚、北風正造ら江戸時代以来の兵庫津の商人と、白洲退蔵ら新開地神戸の商人、県会議員や郡長、慶應

出身の鹿島秀麿ら新聞人、さらに三菱会社の社員など、交詢社の社員は県下で有力な人々が参加したのである。

## ～～3月例会@東天閣レポート～～

石崎 雄三 (平9経)

去る3月17日水曜日、今年も例年通り中神先輩のご配慮のもと、神戸北野の東天閣にて、恒例の3月例会が行われました(参加者数42名)。



まず、佐井会長にご挨拶いただいた後、堀切先輩に乾杯のご発声を頂き、そして次から次へと美味しいお料理が運ばれてきました。メニューをご紹介しておきますと、【伊勢えび前菜盛り合わせ・海鮮入りふかひれスープ・海老のニンニク蒸し・蟹春巻と鶏の唐揚げいりつけ・東天閣北京ダック・特製スパイスペアリブ・水餃子・鳴門金時芋の雨抱き・季節のプリン】といった9品でした。



どれもこれも余すことなく堪能し、私を含めついお酒が進んでしまわれた方もいらしたのではないのでしょうか。

途中、新入会員の方4名【石関 智二(56・商)、小池 剛(H1・経)、橋本 敦子(H1・文)河本英雄(H11・KBS)】のご挨拶もあり、大いに盛り上がりあつという間の2時間でした。

最後の締めとして、阪本副会長からご挨拶を賜り、宴もたけなわではありましたが今年も充実した例会となりました。

最後になりましたが、毎年のごことではありますが中神先輩への感謝を現しつつレポートを終わりたいと思います。



## 会員だより

《蔵書を贈呈するにあたって》

上島 康男 (昭33法)

私が会長を務めさせていただいた間、神戸慶應倶楽部を単なる親睦の集いでなく研修や情報交換の場として出席すれば何かを学び成長の糧となるよう運営しましたが、引き続き講演会の開催他、サークルでそれぞれに活発に活動されているご様子を拝し、頼もしき限りです。最近読書サークル活動をされていると承り喜んでます。

と云うのも今、情報の入手方法が多様化し、若い方々は大半がIT機器をツールとされ、文字からの知識吸収が敬遠されているとのことですが、私が一介のサラリーマンから起業し突然経営者に変身した時、全てが未知のことばかりで猛勉強をしました。

その一は、当然のこと乍ら私の意思決定の決め手にしたのは福澤諭吉先生の教えでした。その二があらゆるジャンルの講演を聞くこと、そして最も重視したのは体験談を学ぶことでした。従って日経新聞掲載の“私の履歴書”は今でも克明に読み、感銘を受けた箇所は切り抜いて参考にしています。そして自分の経営に生かせるように翻訳して実行しました。その三は先達の経営者の心構えや経営手法の著書を読み漁りました。従って私の書棚には全集から単行本までぎっしり埋まっていますので、何か倶楽部の読書会に役立てるなら寄贈したいと思っています。

しかし冒頭に申し上げたように若い方の読書離れの進む中、矢張り高齢者の思いとは大きなギャ

ップがあると気づき、自分の体験が役立つとの考えはやや思い込みすぎだったのではと反省しています。倶楽部の部室は狭く、本棚のスペースにも限りがあります。贈呈するとしてももう一度洗い直す必要があるのでは所蔵数こそ多いのですが、はたして会員の必要とされるものがあるかどうか一度見ていただければと思っています。寄贈するなど云ったわりに何か大山鳴動して鼠一匹になりそうで内心忸怩たる想いですが、私は“人生とは人間修養の場である”との人生観をもっていますので、今でも生涯教養を高める努力を続けています。従って時代が変わっても読書サークル活動が今後共継続されることを期待して止みません。



### 《北イタリアの自然と田舎町を訪ねる旅》

浅沼 清之 (昭 36 経)

2009年9月2日から11日まで、北イタリアの、アルプス山麓にある、コーニュ村に5泊、帰路、パルマに3泊して、自然と田舎町を訪ねる旅に出かけた。関空からミラノに飛び、バスで、トリノ、アオスタ経由、コーニュ村に入る。この村は、グラン・パラディッツ国立公園の入口に位置し、素朴で美しい、アルプス谷間の村である。滞在中に、グラン・パラディッツ国立公園を散策したり、クールメイヨールまで出かけて、ロープウェイを乗り継ぎ、モンブラン山群と氷河の、雄大な景観を満喫したり、チェルビニアまで出かけて、名峰マッターホルンの、イタリア側からの姿を、展望した。イタリアではマッターホルンをモンテ・チェルビーノと呼び、ツェルマットから眺める姿とは一味異なっている。

「秋空を見上げ マッターホルン かな」



### 「アルプスの大パノラマや天高し」。

アオスタは、コーニュ村から、車で40分くらいの所にあるが、ローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスがつくった街で、「アルプスのローマ」と呼ばれる程、ローマ時代の遺跡が残されており、歴史的にも興味深い。城壁内を守るプレトリア門は、紀元前一世紀の建造物である。ローマ門、半円形劇場などの廃墟は、修復されて、綺麗な姿を見せている。アオスタには、アグリ(農業)ツーリズム(旅行)と呼ばれる、ユニークな体験型休暇プログラムを登録した、農家が、50軒程あり、農園を見学して、郷土料理や地元ワインを楽しむことができる。そんな一軒を訪ねてみたが、農園の動物たちと遊んだりした後、陽気で家族思いのイタリア人が、素朴にサービスをしてくれ、ワインも美味かった。

コーニュ村に5連泊の後、バスで、トリノ、クレモナを経由、400キロ程移動し、パルマに3泊した。トリノは、ドーラ川とポー川の合流点に位置する、優雅な都市で、イタリア統一を主導した、旧サルディニア王国の首都であった。カルロ広場のカフェは、統一運動の志士達のたまり場であったという。その後、首都は、フィレンツェ、ローマへと移っている。

パルマ郊外のブセット村は、オペラの巨匠ジュゼッペ・ヴェルディーを生んだ町で、生家や、ヴェルディーがオルガンを弾いた教会がある。パルマの劇場で、ヴェルディー・フェスティバルが開かれていた。

クレモナはヴァイオリンの聖地として知られており、アントニオ・ストラディバリの制作したヴァイオリンは、名器として多数の存在が確認されている。ヴィオラやチェロも制作し、いずれも弦楽器時代の名器として、知られている。市庁舎のガラス戸に保管されたままで、高価な芸術作品の一部を見学できた。

### 「クレモナは楽器の聖地秋の旅」

パルマから100キロ程離れた、ボローニアを、最終日に、訪ねてみた。欧州一古い、ボローニ大学のある、学芸都市で、13世紀には、ダンテも学んでいた。サン・ペトロニオ教会等、重厚な中世の街並みが、落ち着いた雰囲気の中で、大変美しい。ボローニアの小高い丘の上にある、聖ルッカ教会の大聖堂では、荘厳なミサが行われており、山上からの眺望も素晴らしかった。

ヨーロッパの名峰と、古い田舎町を訪ねた10日間の旅は、神戸慶応倶楽部の、井上光さんご夫妻とご一緒させていただいたのであるが、ゆったりとして、心に残る旅であった。

# 同好会だより

KKJC

《ヨーキムラトリオ  
アメリカンクラシックジャズコンサート》

清水 英文 (昭37法)

春を迎えるように3月7日、恒例の「ヨー・キムラ・トリオ」が神戸酒心館ホールにやって来ました。



ご承知の通り、このトリオは木村陽一さん（ドラムス、ヴォーカル）、小川理子さん（ピアノ、ヴォーカル）、石田信雄さん（ベース）のメンバーで1993年に結成され、2000～2002年のアメリカ演奏旅行で大好評を博し、2003年フロリダジャズフェスティバル出演を記念して6枚目のCDをリリース、以来、国内外にて大活躍中であります。そしてリーダーの木村陽一さんは早稲田大学を卒業され、パナソニック勤務時代には小川理子さんの上司であり、又良き理解者でもありました。とりわけこのトリオは、1900年代初めから1940年代のアメリカンクラシックジャズを得意とし、会場の酒心館の「木造ホール」は、クラシックジャズを楽しむにはピッタリの雰囲気でもあり、「古き良き時代」のナンバーを、酒蔵ならではの「利き酒」を味わいながら、満員の会場が大いに盛り上がり、素晴らしいコンサートとなりました。

コンサート終了後、恒例の「KKJC懇親会」が、「さかばやし」に於いて、小川理子さんを囲み21名のメンバー参加のもとで開催されました。その席上、彼女より4月にご結婚されるとの嬉しく、そしてお目出度い発表があり、出席者全員で一足早い春満開の懇親会を満喫することができました。心よりお祝いしたいと存じます。



いろいろ活動しておりますので、ジャズがお好きで入会ご希望の方は近藤までご連絡ください。（会費は不用です。）

KKJC世話人 近藤 正  
([ludy007@kcc.zaq.ne.jp](mailto:ludy007@kcc.zaq.ne.jp))

♪♪

## イーゼル会

《今月の絵》



前田 茂登子 (昭39エ)  
(前田剛資氏夫人)

「水彩画を描いてみよう」とお思いの方いらっしゃいませんか。

イーゼル会では毎月第2・4木曜日の午後6時頃から9時頃まで、クラブルームで水彩を楽しんでいます。時間的にも、神戸近辺でお仕事をなさっている方も楽しんで頂けるのではないかと思います。お上手な方も歓迎ですが、どちらかといえば「絵は中学校の美術の時間以来・・・」と云う様な方、大々歓迎であります。

ご興味のある方は世話人の井上光先輩か天木までご連絡下さい。お待ちしております。

イーゼル会世話人 天木 明

## 読書会

《神戸慶應倶楽部読書会 第8・9回》

第8回目の読書会を1月20(水)に行いました。昨年1年掛けて第1編から17編まで素読をしましたので、今回からはもう一度第1編からに戻り、最初の第1編と最後の第17編を中心に福沢先生のおっしゃることの理解をすすめ、感想を述べ合いました。8回目の参加者は、堀切、浅沼、藤井、古淵、六拜、福野、阪本、宍戸、野田、鈴木を加えて10名でした。

第9回目の読書会は3月16日(火)に行われました。9回目の参加者は、堀切、浅沼、藤井、古淵、六拜、左川、福野、阪本、野田、鈴木、池田、善塔の12名でした。堀切さんが学問のすすめの原文の表現に手を加えることなく原文を使って学問のすすめの「抄」版を作ってくださいだったので、この「抄」版を使って、第1編から第5編までに戻り、学問のすすめを味わいました。

次回は平成22年6月3日(木)18:30から、阪本豊起副会長の事務所(建隆ビルⅡ3階)で、「学問のすすめ」第6編(国法の貴きを論ず)から始めます。読書会の後は、時事放談を楽しみながらの飲み会になります。(飲み会の割り勘代は3,000円です)「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル(旧居留地8番)の西隣(東京海上)の更に西隣(6番)の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18:30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽にご参加ください。

但し、お酒とつまみの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起

## 会員の輪

### 《口座の滝のラジオ体操》

近藤 正(昭39商)

♪新しい朝が来た 希望の朝だ 喜びに胸を開け  
大空あおげ ラジオの声に 健やかな胸を この  
香る風に開けよ それ一二三・・・♪と熟年者には聞き慣れたラジオ体操の歌が、まだほの暗い六甲山の麓に響く。

定年後 早朝ウォーキング中にたまたま出会ったラジオ体操(NHK6:30放送)を始めてから約10年になった。場所は六甲山中腹のロックガーデンの入り口の高座の滝(標高250m)で、ここに毎朝20名前後の同好の士が集まって来る。

雨の日も風の日も・・・とは言わないが、毎朝続けて通ううちにいつのまにか2,800回を超えた。毎朝滝へ到着時に記帳すると、当番が「毎日登山採点表」なるものに個人別に回数を貼りだしてくれる。そのランキングを見ると、最高は11,000回の人が出て、30年来毎日続けているという。それからみたら、小生などまだ青二才だ。

自宅から高座の滝までは、徒歩で約30分(2km)の道のりなので、6時前に家を出る。夏などはすで

に明るくて爽快だが、冬は真っ暗で寒風でも吹いていたら、さすがに骨身にこたえる。

高座の滝は、高さが10メートルの夫婦滝で周囲は樹木に覆われ、壁には代表的アルピニストの藤井九三氏のレリーフがある。また、滝の横に護摩堂があるのは、近くで鎌倉時代初期の祭祀性の遺物が出土され、昔は修験者の霊場であった由縁とのことだ。

護摩堂の前で体操を終えてから、滝の前で、修験者よろしく浄土真宗の親鸞の教え「三帰依文」(さんきえもん)を大声で拝読すると、身も心も滝に洗い流され、清らかな気持ちで一日がスタートする思いだ。おかげで帰宅後の朝食もおいしい。

今後、いつまで続くかわからないが、心身ともに健康を維持するために、高座の滝でのラジオ体操を続けていきたいと思っている。



### 《康乗克之会員 ご結婚1周年披露パーティー》

郷田 誠紀(平6商)

ネタが思いつかず悩んでいたところ、康乗 克之先輩(昭58商)の結婚1周年披露パーティーが、開催されるとの情報を入手し、半ば強引に(?)出席させていただきましたので、ここにレポートいたします。

日増しに暖かさを感じるようになった3連休の中日にあたる3月21日、横浜インターコンチネンタルホテルで催されました。当日は黄砂まじりの強い風が全国的に吹き荒れ、神戸空港発の飛行機の中には強風により欠航になった便もありましたが、私は新幹線で無事、定刻ギリギリに到着いたしました。

出席者は、大学時代のご友人やラグビー関係のご友人、奥様のご友人等で少なくとも200名はいらっしゃるようで、康乗ご夫妻の人脈の広さが伺



いしれました。カジュアルな立食形式で行われ、友人代表のスピーチも想いがこもっているものばかりでした。スピーチ

される方も既にご結婚されている方ばかりというせいもあってか、結婚生活に対するアドバイスや奥様との接し方に対するアドバイス等(『1日、一回は必ず奥様を誉めることetc』)が多く、結婚生活1年半の私にもためになるものばかりでした。

笑いの絶えないパーティーでしたが、最後に、財津和夫さん(チューリップ)の康乗ご夫妻に向け

たビデオメッセージと演奏が映し出され、場内の盛り上がりも最高に。その後、康乗先輩の見せた涙に、もらい泣きしそうになりました(奥様は微笑んでいらっしやいましたが・・・)。先輩の涙混じりのスピーチで楽しいパーティーの幕が閉じました。

この後、2次会⇒有志(?)による、横浜老舗 bar めぐりと長い夜が続きましたが、大人の素敵な披露パーティーに参加でき、この日はとてもハッピーな気分になりました。お二人の門出を心より祝福いたします。

神戸慶應倶楽部にも、美しい奥様をお披露目していただきたいと思いながら、レポートを終わります。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

BRB編集部 [kobekeio@dream.ocn.ne.jp](mailto:kobekeio@dream.ocn.ne.jp)

### ～～今後の行事予定～～

4月	6日	慶早ゴルフコンパ	廣野 GC
4月	20日	4月例会／評議員会	神港ビル1F A
5月	26日	定時総会	神戸外国倶楽部
6月	3日	読書会	健隆ビルII 3F
6月	17日	6月例会	神港ビル1F A
7月	23日	サマーパーティー	神戸銀行倶楽部

### ～～慶早ゴルフコンパのご案内～～

日時：2010年4月6日(火) 集合9:20  
 場所：廣野ゴルフ倶楽部  
 会費：6,000円 (プレー代・昼食代等は各自負担)

### ～～4月例会のご案内～～

日時：2010年4月20日(火) 18:00より受付  
 場所：神港ビル 1階会議室  
 講師：阪元清輝会員  
 ‘10年1月入会 明治乳業(株)関西支社兵庫支店長  
 内容：「健康と乳製品」  
 会費：3,000円

### ～～評議員会開催のご案内～～

4月例会終了後に引き続いて評議員会を開催いたします。

神戸慶應倶楽部規約第27条

1. 評議員会は会長、副会長、評議員、会計監査、幹事長、副幹事長をもって構成する。
5. 評議員会は評議員が3名以上出席しなければ成立しない。

### ～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月のメールマガジンでご確認ください。

編集後記

○各地で桜が咲き始めていますが、4月は新入社員研修の時期でもあり、ゆっくり花見もままならず。それでも、研修の間隙を縫って千刈水源地にも行ってみようかなど思っています。みなさまのお勧めは何処ですか？(H)

○門出の4月。我が家では下の娘が新幼稚園児。お姉ちゃんを見ていたので、相当楽しみにしているようです。こちらの都合とは関係なく、子供はどんだん大きくなります。親としての品格が付いてきていないのが悩みの種です。(洋)

